

2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

上場会社名 アビックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7836 URL http://www.avix.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩切 敏晃
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 桐原 威憲 (TEL) 045-670-7720
 定時株主総会開催予定日 2025年6月27日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年6月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,347	16.6	437	61.1	268	152.7	244	133.8	181	126.0
2024年3月期	3,727	12.1	271	57.7	106	583.8	104	867.4	80	—

(注) 包括利益 2025年3月期 183百万円(98.9%) 2024年3月期 92百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	5.17	—	11.1	8.2	6.2
2024年3月期	2.29	—	5.3	3.6	2.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 △1百万円 2024年3月期 5百万円

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	3,183	1,737	54.5	49.37
2024年3月期	2,797	1,554	55.4	44.14

(参考) 自己資本 2025年3月期 1,734百万円 2024年3月期 1,550百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	219	△55	△204	661
2024年3月期	603	△38	△283	702

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,800	10.4	457	4.5	285	6.0	281	14.7	226	24.7	6.45

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における連結範囲の重要な変更に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	35,129,566株	2024年3月期	35,129,566株
② 期末自己株式数	2025年3月期	一株	2024年3月期	一株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	35,129,566株	2024年3月期	35,129,566株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	4,137	15.6	253	163.0	230	157.4	170	146.6
2024年3月期	3,578	12.7	96	519.0	89	867.2	69	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期	4.84		—					
2024年3月期	1.96		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2025年3月期	2,989		1,783		59.7	50.78		
2024年3月期	2,618		1,611		61.5	45.86		

(参考) 自己資本 2025年3月期 1,783百万円 2024年3月期 1,611百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断くださるようお願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(表示方法の変更の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(1株当たり情報の注記)	12
(重要な後発事象の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の拡大などにより緩やかな回復基調となりました。しかしながら、エネルギー、原材料の価格高騰、不安定な海外情勢や為替相場、更に足元では米国における関税引き上げ等の影響により依然として先行き不透明な状況が続いております。また広告業界においては、株式会社電通が2025年2月に発表した「2024年日本の広告費」によると、2024年（1～12月）の日本の総広告費は7兆6,730億円（前年比4.9%増）と好調な企業収益や消費意欲の活発化、世界的なイベント、インバウンド需要の高まりなどに支えられ、3年連続で過去最高を更新しました。その中でも、インターネット広告費は3兆6,517億円（同9.6%増）と社会のデジタル化を背景に継続して成長し、広告市場全体を牽引しました。

このような経済環境に加え、当社にとって影響の大きいデジタルサイネージマーケットの拡大に伴い、競合増加による価格競争の影響がありましたが、当社グループは、「デジタルサイネージ業界No. 1」を掲げ、引き続き積極的な拡大策を展開してまいりました。新たなラインナップを調達、徹底した品質管理をベースにデジタルマーケティングによる案件の増加を実現し、代理店との連携強化による案件獲得も増加いたしました。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高4,347,136千円（前年同期比16.6%増）、営業利益268,807千円（前年同期比152.7%増）、経常利益244,920千円（前年同期比133.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益181,617千円（前年同期比126.0%増）となりました。また、当連結会計年度におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース部門、運営部門につきましては、リースや月額利用料の契約といったサブスクリプションサービスであることから、契約の増加が安定的な収益につながっております。

特に、CMS（コンテンツマネジメントシステム）「DiSi cloud」は堅調に推移しており、契約数、売上ともに増加いたしました。今後も「DiSi cloud」を軸とし、AIサイネージソリューション等を連携したデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」を積極的に展開してまいります。

情報機器部門につきましては、大手商業施設や自動車ディーラー、オフィスエントランス、シネコンなど多様な業界での案件を受注しており、今後もさらに展開してまいります。

以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高4,169,854千円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益256,414千円（前年同期比153.2%増）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用やターゲットユーザーに響くコンテンツ（記事、動画）制作により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。

当事業はサブスクリプションモデルの事業が中心となっていることもあり、前期に引き続き安定的に売上を計上することができております。

以上の結果、Value creating事業は、売上高177,281千円（前年同期比40.8%増）、セグメント利益15,843千円（前年同期比211.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は3,183,091千円となり、前連結会計年度末に比べ385,709千円増加しました。

流動資産は、2,566,492千円となり、前連結会計年度末に比べ517,441千円増加しました。主な要因は、商品及び

製品、売上債権が増加したことであります。

固定資産は、616,598千円となり、前連結会計年度末に比べ131,731千円減少しました。主な要因は、償却によるのれんの減少したことであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は1,445,793千円となり、前連結会計年度末に比べ202,691千円増加しました。

流動負債は、1,003,136千円となり、前連結会計年度末に比べ316,045千円増加しました。主な要因は買掛金及び前受金が増加したことによるものであります。

また、固定負債は、442,656千円となり、前連結会計年度末に比べ113,353千円減少しました。主な要因は、長期借入金が減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は1,737,298千円となり、前連結会計年度末に比べ183,017千円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ41,049千円減の661,416千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりです。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益231,320千円の計上や、のれん償却額107,164千円等があり、219,792千円の収入（前年同期は603,084千円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出67,003千円等により、55,970千円の支出（前年同期は38,563千円の支出）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出199,730千円等により、204,871千円の支出（前年同期は283,299千円の支出）となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、デジタルマーケティング・代理店との連携強化による大型LEDの販売強化や、サブスクリプションサービスが主となるデジタルプラットフォーム「MiRAi PORT」の拡大展開、Value creating事業の更なる成長を図ってまいります。これらにより、次期連結会計年度（2026年3月期）は連結売上高4,800百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益285百万円（前年同期比6.0%増）、経常利益281百万円（前年同期比14.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益226百万円（前年同期比24.7%増）を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期につきまして、諸情勢を考慮しながら検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	702,466	661,416
受取手形	9,640	18,810
電子記録債権	106,765	299,335
売掛金	804,356	868,068
商品及び製品	154,582	323,995
仕掛品	23,380	27,865
原材料	3,613	3,696
前渡金	229,834	343,530
その他	14,431	19,793
貸倒引当金	△17	△20
流動資産合計	2,049,051	2,566,492
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	28,531	30,434
減価償却累計額	△5,365	△8,269
建物附属設備(純額)	23,165	22,164
車両運搬具	2,550	2,550
減価償却累計額	△2,074	△2,313
車両運搬具(純額)	476	237
工具、器具及び備品	445,163	512,108
減価償却累計額	△348,961	△388,276
工具、器具及び備品(純額)	96,202	123,831
レンタル資産	175,338	180,854
減価償却累計額	△162,631	△167,784
レンタル資産(純額)	12,706	13,069
リース資産	27,947	22,454
減価償却累計額	△20,634	△19,595
リース資産(純額)	7,312	2,859
有形固定資産合計	139,864	162,162
無形固定資産		
のれん	491,172	384,007
その他	21,443	18,652
無形固定資産合計	512,615	402,660
投資その他の資産		
投資有価証券	60,489	56,098
その他	35,360	20,677
貸倒引当金	—	△25,000
投資その他の資産合計	95,850	51,776
固定資産合計	748,330	616,598
資産合計	2,797,382	3,183,091

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	229,843	495,293
1年内返済予定の長期借入金	199,730	143,825
リース債務	5,151	3,232
未払法人税等	17,900	39,543
賞与引当金	30,807	38,876
前受金	75,542	184,784
その他	128,114	97,581
流動負債合計	687,091	1,003,136
固定負債		
長期借入金	375,025	231,200
リース債務	3,222	—
繰延税金負債	27,328	43,650
預り保証金	150,000	150,000
その他	434	17,806
固定負債合計	556,010	442,656
負債合計	1,243,101	1,445,793
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	615,454	615,454
利益剰余金	△275,477	△93,860
株主資本合計	1,547,541	1,729,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,088	5,644
繰延ヘッジ損益	—	△391
その他の包括利益累計額合計	3,088	5,252
非支配株主持分	3,650	2,887
純資産合計	1,554,281	1,737,298
負債純資産合計	2,797,382	3,183,091

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,727,381	4,347,136
売上原価	2,674,524	3,078,851
売上総利益	1,052,856	1,268,285
販売費及び一般管理費	946,490	999,477
営業利益	106,366	268,807
営業外収益		
受取利息	1,205	1,656
受取配当金	270	308
持分法による投資利益	5,198	—
為替差益	—	56
保険解約返戻金	—	4,720
その他	559	1,118
営業外収益合計	7,234	7,859
営業外費用		
支払利息	8,099	4,980
持分法による投資損失	—	1,058
為替差損	512	—
貸倒引当金繰入額	—	25,000
その他	245	707
営業外費用合計	8,857	31,746
経常利益	104,744	244,920
特別損失		
固定資産除却損	184	0
投資有価証券評価損	—	8,599
役員退職慰労金	—	5,000
特別損失合計	184	13,599
税金等調整前当期純利益	104,559	231,320
法人税、住民税及び事業税	8,975	35,002
法人税等調整額	12,992	15,073
法人税等合計	21,968	50,075
当期純利益	82,591	181,245
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	2,225	△371
親会社株主に帰属する当期純利益	80,365	181,617

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	82,591	181,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,376	2,555
繰延ヘッジ損益	7,056	△783
その他の包括利益合計	9,433	1,772
包括利益	92,024	183,017
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	89,799	183,781
非支配株主に係る包括利益	2,225	△763

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合 計	その他有価 証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	1,207,564	617,740	△355,842	1,469,461	711	△7,056	△6,344	2,139	1,465,256
当期変動額									
親会社株主に帰属す る当期純利益			80,365	80,365					80,365
連結子会社株式の取 得による持分の増減		△2,286		△2,286					△2,286
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					2,376	7,056	9,433	1,511	10,945
当期変動額合計	—	△2,286	80,365	78,079	2,376	7,056	9,433	1,511	89,024
当期末残高	1,207,564	615,454	△275,477	1,547,541	3,088	—	3,088	3,650	1,554,281

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合 計	その他有価 証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の包 括利益 累計額合計		
当期首残高	1,207,564	615,454	△275,477	1,547,541	3,088	—	3,088	3,650	1,554,281
当期変動額									
親会社株主に帰属す る当期純利益			181,617	181,617					181,617
株主資本以外の項目 の当期変動額(純 額)					2,555	△391	2,164	△763	1,400
当期変動額合計	—	—	181,617	181,617	2,555	△391	2,164	△763	183,017
当期末残高	1,207,564	615,454	△93,860	1,729,158	5,644	△391	5,252	2,887	1,737,298

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	104,559	231,320
減価償却費	57,905	61,361
のれん償却額	107,164	107,164
有形固定資産除却損	184	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△938	3
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,198	8,069
受取利息及び受取配当金	△1,475	△1,964
支払利息	8,099	4,980
持分法による投資損益 (△は益)	△5,198	1,058
貸倒引当金繰入額	—	25,000
投資有価証券評価損	—	8,599
保険解約返戻金	—	△4,720
売上債権の増減額 (△は増加)	417,110	△265,452
棚卸資産の増減額 (△は増加)	24,809	△173,982
仕入債務の増減額 (△は減少)	△91,765	265,450
前渡金の増減額 (△は増加)	△42,295	△113,696
前受金の増減額 (△は減少)	△49,148	109,841
その他	83,338	△25,370
小計	617,547	237,662
利息及び配当金の受取額	275	1,364
利息の支払額	△7,756	△4,921
法人税等の支払額	△6,981	△15,425
法人税等の還付額	—	1,112
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,084	219,792
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△41,315	△67,003
無形固定資産の取得による支出	△1,203	△5,895
投資有価証券の取得による支出	△1,428	△1,462
関係会社株式の取得による支出	△4,970	—
差入保証金の差入による支出	△5,299	△3,181
差入保証金の回収による収入	15,653	101
保険積立金の払戻による収入	—	21,501
その他	—	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△38,563	△55,970
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△200,000	—
長期借入れによる収入	200,000	—
長期借入金の返済による支出	△265,817	△199,730
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△3,000	—
リース債務の返済による支出	△14,482	△5,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,299	△204,871
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	281,222	△41,049
現金及び現金同等物の期首残高	421,244	702,466
現金及び現金同等物の期末残高	702,466	661,416

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更の注記)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「前受金の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた34,189千円は、「前受金の増減額」△49,148千円、「その他」83,338千円として組み替えております。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「デジタルサイネージ関連事業」、「Value creating事業」の2つを報告セグメントとしております。

「デジタルサイネージ関連事業」は、デジタルサイネージの製造・販売・リース・メンテナンス、デジタルサイネージ向けのソリューション及びサービスを提供しております。

「Value creating事業」は、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計方針は、連結財務諸表と同一であります。セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び業績は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	3,601,514	125,867	—	3,727,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,981	1,604	△4,585	—
計	3,604,496	127,471	△4,585	3,727,381
セグメント利益	101,271	5,094	—	106,366
セグメント資産	1,938,556	27,802	831,023	2,797,382
その他の項目				
減価償却費	54,003	262	3,638	57,905
のれん償却費	107,164	—	—	107,164
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	46,552	342	9,592	56,487

(注) 1 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント売上高の調整額4,585千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額831,023千円は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び業績は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	4,169,854	177,281	—	4,347,136
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,269	7,510	△10,779	—
計	4,173,123	184,791	△10,779	4,347,136
セグメント利益	256,414	15,843	△3,450	268,807
セグメント資産	2,377,412	49,304	756,374	3,183,091
その他の項目				
減価償却費	53,909	1,183	6,268	61,361
のれん償却費	107,164	—	—	107,164
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	67,971	6,805	6,092	80,868

(注) 1 調整額は以下の通りであります。

- (1) セグメント売上高の調整額10,779千円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額756,374千円は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

(1株当たり情報の注記)

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	44円14銭	49円37銭
1株当たり当期純利益	2円29銭	5円17銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,554,281	1,737,298
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	3,650	2,887
(うち新株予約権(千円))	—	—
(うち非支配株主持分(千円))	△3,650	△2,887
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,550,630	1,734,411
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	35,129,566	35,129,566

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益	2円29銭	5円17銭
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	80,365	181,617
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期利益又は、 当期純損失(△)(千円)	80,365	181,617
普通株式の期中平均株式数(株)	35,129,566	35,129,566

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。